

平成 21 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 オーミケンシ株式会社
 代表者名 取締役社長 龍 寶 惟 男
 (コード番号 3111 東証・大証第二部)
 問合せ先 管理部 経理・財務グループ
 担当部長 隅 田 篤 男
 (TEL 06 - 6205 - 7300)

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 5 月 13 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1)平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	10,300	160	80	90
今回発表予想(B)	8,960	170	40	1,160
増減額(B-A)	1,340	10	40	1,070
増減率(%)	13.0	6.3	-	-
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	12,666	863	793	2,606

(2)平成 22 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	7,100	100	200	160
今回発表予想(B)	6,350	180	280	650
増減額(B-A)	750	80	80	490
増減率(%)	10.6	-	-	-
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	7,982	100	200	21

(3)業績予想の修正理由

〔連結〕売上高は、テキスタイル事業の不振に加え、長引くアパレル業界の市況の低迷等により予想を下回る見込みです。営業利益および経常利益についてはブラジルの連結子会社の業績回復等があり予想を上回る見込みです。なお、四半期純利益につきましては次頁の通り特別損失を計上する一方で法人税等調整額(益)の計上があったものの全体では予想を下回る見込みです。

〔個別〕テキスタイル事業の不振等により売上高、営業利益、経常利益ともに予想を下回る見込みです。四半期純利益につきましては次頁の通り特別損失を計上する一方で法人税等調整額(益)の計上があったものの全体では予想を下回る見込みです。

なお、連結および個別の通期業績予想につきましては、第 2 四半期決算発表時(11 月 11 日予定)に公表の予定です。

2. 特別損失の発生

〔連結〕

本日発表の「グループ企業の事業再編に関するお知らせ」の通り、米国の金融危機に端を発した世界同時不況の中、当社グループを巡る経営環境の急激な悪化に対応するため、緊急対策として収益悪化事業の見直しと固定費の圧縮などを内容とした事業再編に取り組んでまいりました。その結果、飯田工場及び大垣E P事業所の操業休止による退職金、固定資産廃棄損、たな卸資産処分損、人材派遣事業譲渡等の人員削減に伴う退職金、ミカレディの事業転換に伴う費用引当等が発生しました。さらに操業短縮に伴う費用等を加え、当第2四半期連結累計期間において事業構造改善費用1,838百万円、固定資産廃棄損194百万円等を特別損失に計上する予定です。

〔個別〕

上記〔連結〕に記載の通り、飯田工場及び大垣E P事業所の操業休止による退職金、固定資産廃棄損、たな卸資産処分損、人材派遣事業譲渡等の人員削減に伴う退職金等が発生しました。さらに操業短縮に伴う費用等を加えた結果、当第2四半期累計期間において事業構造改善費用944百万円、固定資産廃棄損186百万円等を特別損失に計上する予定です。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因により、実際の業績が予想値と異なる場合があります。

以 上